

分野連携企画報告書

分野連携企画 (No.51) 第16回 新☆エネルギーコンテスト

行事URL <https://sites.google.com/view/ene-con2023/>

1.開催日・会場 2023年10月21日 (土) ・オンライン開催

3.企画内容

新☆エネルギーコンテストは、日本機械学会 技術と社会部門が協力するイベントとして、2008年に始められた「エネルギー利用に関する」コンテストである。第16回(2023年度)を迎える本年度は、日本機械学会 技術と社会部門と環境工学部門の分野連携企画 (No. 51) として、日本機械学会と日本大学工学部の共催で開催された。

本コンテストでは、応募対象者に制限は設けず、展示・実演部門とポスター部門の2部門に分けて、災害に強いエネルギー自立・自然共生型住環境の実現に不可欠な、太陽、風力、地熱、木質系バイオマスなどの新☆エネルギーの有効な利用方法(冷凍、空調、給湯、調理など)のアイデアを広く募集した。

4.連携の成果

本年度のコンテストでは、昨年度 (No. 32) に引き続き、分野連携企画 (No. 51) に選定され、公益社団法人日本冷凍空調学会、公益社団法人日本伝熱学会東北支部および一般社団法人日本太陽エネルギー学会のご後援と、環境工学部門のご協賛をいただいた。一昨年から新規に設定された技術と社会部門の部門展示表彰の審査も滞りなく実施された。

また、昨年度に引き続き、日本機械学会2023年度年次大会において、一般公開行事として市民フォーラム「新☆エネルギーコンテストって何だ?」を環境工学部門と合同で開催した。環境エネルギー教育の裾野を広げるという意味において一般公開行事は重要であり、今後注力すべき行事と考えている。

2.企画部門

技術と社会部門
環境工学部門

5.今後の課題 (苦勞した点, 課題点, 他の企画へのアドバイス等)

オンライン開催のメリットとして、全国どこからでも参加できることが挙げられ、今年度は香川県や山形県など他県からの参加者はいたもののさらに多くの参加を得るためには事前の十分な広報活動が重要である。来年度に向けて、東北をはじめとして各学校への周知をさらに行う予定である。

分野連携については、来年度に向けて定期的に打ち合わせを行い、環境工学部門、技術と社会部門それぞれの部門で本コンテスト普及に向けた取り組みについて意見交換を行う必要がある。また、スポンサーとなる企業や各研究者の参加に向けたアプローチについてもさらなる協力が必要となる。

また、来年度の新たな試みとして、日本機械学会2024年度年次大会において、本年度も行った市民フォーラム「新☆エネルギーコンテストって何だ?」に加えて、オーガナイズドセッションを環境工学部門と合同で開催する予定である。環境工学部門および技術と社会部門の代表者による審査による贈賞「日本機械学会分野連携企画賞」(仮称)の新設についても検討している。